

地域にプラット

ちいぶら通信

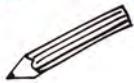
地域連携活動報告書

VOL.4



十文字学園女子大学
JUMONJI UNIVERSITY

もくじ



VOL.4

「プラスちゃんナツ」の開発
～本学マスコットキャラクターを初デザイン～

國井大輔 ··· 1

地元の未利用食材「さといも親芋」を活用して
シニア健康教室でランチ提供！

佐々木菜穂 ··· 3

清瀬市旭が丘団地に関する活動報告

菅原沙恵子 ··· 5

SDGs持続可能な未来にMISO SOUPを食べて
自分たちの健康にプラスワン
「朝食にちょうどおいしいみそ汁を食べよう運動」

芝崎本実 ··· 7
鴨下澄子

子ども元気プロジェクト2025

鈴木康弘 ··· 9

学生主体で広がる学科の魅力発信プロジェクト
—交流を通して育つ実践と学びの場—

塙田昭一 ··· 11



もくじ



VOL.4

親子でまなぶ認知症 2025

富井友子 ··· 13

地域との連携による多様性交流サロン
「みんなのひろば☆きらり」の実践

人見優子 ··· 15

プラスちゃん(✿✿✿)といっしょに、
地域にプラスの価値を！学生にプラスの経験を！

星野祐子 ··· 17

学生スタッフとして地域の親子と一緒に楽しみ
ながら保育の専門家から実践的に学んでいます！

向井美穂 ··· 19

学生の声と感性で地域を動かす連携プロジェクト
—対話・表現・企画でつながる地域共創—

山崎萌々子 ··· 21

【ボランティアセンター】

地域に活かそう学生のチカラ
—学生のボランティア活動の支援—

佐藤 陽 ··· 23

学生・教員・地域が一体となって、実施した活動をまとめました。
いきいきとした学生の姿をご覧ください。



活動団体名

食物栄養学科 (実施責任者：國井大輔)

活動タイトル

「プラスちゃんナッツ」の開発 ～本学マスコットキャラクター を初デザイン～



活動概要・テーマ

プラスちゃんを外装採用した商品開発を実施

食物栄養学科ならびに國井ゼミの学生と一緒に、本学のマスコットキャラクターであるプラスちゃんを外装パッケージに配置したナッツ商品を開発しました。学園祭でお披露目（販売）をしたので活動を紹介します。



Topics

1

学園祭で初お披露目



2025年10月25-26日に実施した第59回桐華祭で、初めて「プラスちゃんナッツ」を皆さんにお披露目しました。

Topics

2

I♡新座フェスで紹介



2025年11月14-16日にマルイファミリー志木店で行われた「I♡新座フェス」で「プラスちゃんナッツ」を紹介しました。

Topics

3

商品開発の経緯と展開



「ナッツファースト」というコンセプトで國井特任教授が監修した「ナッツ＆フルーツ」を「実践食事学」で横展開しました。



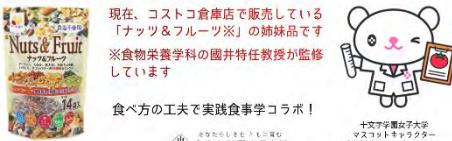
大学公式HP : <https://www.jumonji-u.ac.jp/humanlife/food/seminar/>

食物栄養学科と國井ゼミの学生で 本学キャラクターである「プラスちゃん」を 外装デザインに採用したナッツを開発しました！

みなさん、はじめまして！



アーモンド・くるみ・黒大豆・かぼちゃの種・ドライいちじく・ドライクランベリーがバランス良く入っています。食塩不使用で素材の味が楽しめます。



本学から徒歩9分ほどにある就労移行支援施設「スワンベーカリー新座店(ヤマトグループ関連団体)」でも販売中です。



新たなチャレンジであった今回の取り組みは、皆様と連携することで実現することができました。
メーカー担当者であるハース株式会社白井様をはじめ、学生・学科・職員を含め本学関係者の皆様のご協力に対して、この場をお借りして、心より御礼申し上げます。



「食べる学び」の選択肢を増やして可能性を広げる

QRコード
「食べる学び」に関する
興味ある情報
お読みください

みんなの
じっせん しょくじがく * 実践食事学

管理栄養士として30年以上、「食と健康」について見てきました。
近々8,000人以上にメタボ指導をして気付いたことがあります。
皆さんと新しい学びの環境をつくることにしました。

●「実践食事学」とは、「食べる学び」を「学生生活」につなげる新しい学びです。
十文字学園女子大学人間社会系栄養学科准教授の国井昌子先生が考案した独自の学び方です。

●「実践食事学コラボ」は、「食べる学び」を「実践食事学」を通して学ぶこと。
「実践食事学」では「食べる学びの選び方・食べ方の工夫」を中心で、
「美味しい」と健康をなくす、より良くなり生きる力のひとつになります。

●「実践食事学」はこんな学び

- ① 食べものの特徴と
食べ方を知っておく
- ② からだの仕組みを
知っておく
- ③ 学びを実生活で
つなぐ(体験する)

●「実践食事学コラボ」で食べる学びの環境をつくります！

「健康的な朝食」だけではなく、食べ方の工夫から！

じっせん しょくじがく
実践食事学コラボ

「プラスちゃんナッツ」

▶ プロ自認の評価

卵黄卵白(卵)を摂取できる、たんぱく質、脂質(不飽和脂肪酸)、糖質、食物繊維、カリウム、鉄、マグネシウム、ビタミンの内容が良い。食塩不使用で、間食や普段食にも適している。味が濃いもあり、ゆっくり良く噛んで食べることで満足感も得られます。

●「実践食事学コラボ」で食べる学びの環境をつくります！

●「実践食事学コラボ」で食べる学びの環境をつくります！

「実践食事学」は、「食育リスクリング」として教育格差を補います。
これからも体験を通じた「学びの環境」を社会実装していきます。



2025年10月25日、第59回桐華祭でお披露目をしました。
かわいいデザインと、ナッツとドライフルーツの組み合わせが
好評でした。

引き続き、地域社会の皆様と一緒に、大学・学科の取り組みを通じた様々な社会貢献活動を進めていきます♪



活動団体名

プラスごはんプロジェクト

チーム さといも

活動タイトル

地元の未利用食材

「さといも親芋」を活用して
シニア健康教室でランチ提供！

活動概要・テーマ

学生による親芋の有効活用の検討と食事提供

親芋はえぐみが強く、廃棄されることの多い未利用食材です。私たちは下処理を工夫し、新座で採れた親芋を活用したコロッケを作成しました。健康栄養学科3年生有志が、シニア健康教室のランチとして提供しました。



Topics
1

学生による調理



「給食運営実習」で大量調理を学んだ健康栄養学科（栄養士養成課程）3年生有志が、調理から提供を担当しました。

Topics
2

さといも親芋の紹介



レシピを考案した学生が、さといも親芋の特徴や廃棄の現状、今回の調理下処理の工夫点などを紹介しました。

Topics
3

ランチ提供



完成した親芋コロッケを、シニア健康教室の参加者にランチとして提供しました。なめらかな食感でおいしいと好評でした。

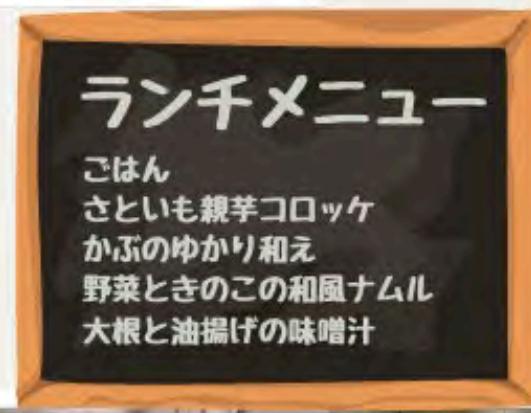


健康栄養学科Instagram : @kenkoeiyo

新座の さといも親芋 コロッケを提供 しました

プラスごはんプロジェクトでは、
地域の未利用食材であるさといも親芋を
活用し、学生がレシピを考えました。

2025年12月20日、シニア健康教室に
参加されたみなさまに、親芋コロッケを
ランチとして提供しました。



今回使用した親芋は、新座農産物直売センターから特別に譲渡していただきました。
ご関係のみなさまに心より御礼申し上げます。

活動団体名
プラスごはんプロジェクト
チーム あさひがおか

活動タイトル

清瀬市旭が丘団地に関する 活動報告

活動概要・テーマ

高齢者を対象とした健康に関するミニ講座

清瀬市旭が丘団地にお住まいの高齢者の方々が集う「旭が丘みんなのサロン」にて、「夏バテ予防講座」を行いました。学生たちにとって、日頃の学びを活かすことができる大変貴重な経験となりました。



Topics 1 栄養や食に関する講座



第一部では「栄養」や「食品」の視点からミニ講座を実施し、クイズや対話を通して楽しく学ぶ時間となりました。

Topics 2 運動に関する講座



第二部では「運動」の視点からチアダンスを実施し、学生の明るいリードで会場が一体となり、笑顔で包まれました。

Topics 3 SAT(サッ)食事診断



フードモデルを使って食事内容から栄養状態が診断できるSATシステムを用い、自分の食生活を振り返る体験をしていただきました。



健康栄養学科Instagram : @kenkoeiyo

プラスごはんプロジェクト ～清瀬市旭ヶ丘団地に関する活動報告～

健康栄養学科の学生が、「プラスごはんプロジェクト」の一環として、8月22日（金）に清瀬市 旭ヶ丘団地 みんなのサロンを訪問し、高齢者の皆さまを対象とした「夏バテ予防講座」を開催しました。

この講座は、学生が主体となって企画から準備、当日の運営までを行ったものです。

第一部では、食文化コースの4年生による夏を元気に乗り切るための講座を実施しました。クイズを取り入れたり、ペアトークをしていただいたりと、参加者の皆さまに楽しく学んでいただけるよう工夫を凝らしました。皆さまが真剣に、そして笑顔で聞いてくださる姿に、学生達も大きな達成感を感じingおりました。



第二部は、健康運動コースの2年生によるチアダンスを実施しました。チアダンスは室内でイスに座って実施するので、暑い日でも無理なく運動ができます。明るいリードとともに軽快な音楽に合わせて椅子に座ったまま簡単な運動を実施しました。会場が一体となって笑い声に包まれ、とても楽しい時間を過ごすことができました。



おわりに

地域とのつながりを大切にすることは、人と人の交流を深め、地域社会の活性化や住民の方々の健康増進のためにも重要であると考えます。

プラスごはんプロジェクトでは、今後も学生を主体として、地域での健康づくり活動を促進してまいります！

活動団体名

十文字学園女子大学×私立駒場学園高等学校
高大連携「食の未来を創る」プロジェクト

活動タイトル

SDGs持続可能な未来にMISO SOUP を食べて自分たちの健康にプラスワン 「朝食にちょうどおいしい みそ汁を食べよう運動」

活動概要・テーマ

みそ汁を教材とした適塩推進と 地域貢献の取り組み

若年層を対象とした食事調査の結果を受け、朝食欠食と食塩過剰摂取の改善を目指しました。

調理が簡単な「みそ汁」を教材に、科学的根拠に基づく適切な塩分摂取（適塩）の理解とレシピ開発を通じ、将来の健康維持に資する実践的な食育活動を推進しました。



Topics 1

適塩とおいしさの理解



食塩摂取の現状とリスクを学び、自身の味覚と塩分濃度を科学的に測定。健康とおいしさを両立する「適塩」の重要性を深く理解しました。

Topics 2

子ども食堂へ「適塩みそ汁」の提案と地域貢献



和光市の食堂にて調理ボランティアを実施。県産野菜の旨みを活かした適塩みそ汁を提供し、レシピブック配布を通じて家庭での実践支援と地域貢献に繋げました。

Topics 3

多彩なみそ汁レシピと 日めくりカレンダー



適塩やSDGsの視点を取り入れた適塩みそ汁レシピを高校生と開発。その成果を「日めくりカレンダー」として媒体化し、継続的な食育に活用可能な教材を製作しました。



高大連携「食の未来を創る」プロジェクトInstagram : @koudai_renkei

高大連携「食の未来を創る」プロジェクトとは…

十文字園女子大学(埼玉県新座市)と駒場学園高等学校(東京都渋谷区)が2023年に高大連携協定を結び、

有志生徒および学生で構成されたメンバーで「食の未来を創る」プロジェクトを実施している。



このプロジェクトでは、食に携わる双方の知識や技術を活かしながら
「食・農・健康」をテーマにSDGsの観点から食を通じた人材育成を目指している。

2025年度は食物栄養学科の学生が有志で参加した。

自らの力で将来の食生活を営む力、

環境に配慮した食を創造する技術や知識を育む。



笑顔とみそ汁でつながる！

2025年度 高大連携メンバー



朝食にちょうどおいしいみそ汁を食べよう運動



みそ汁を飲んでみよう

ちょうどいい塩味と感じたものはどれかな？

0.6% 0.8% 1.0%



好みしい塩味濃度を
調べてみよう



3種類ののろ紙を舌の上にのせて、味を確認し、塩分濃度を当ててみよう！

黄0.6% 緑0.8% 赤1.0%

好みしいと思う塩味濃度で、0.8%が最も多かった。
次いで1.0%であった。
→好みしいと思う塩味濃度ごとにグループを作る。
[グループ分け]
0.6%、0.8%①、0.8%②、1.0%③

- ・朝食と適塩習慣の定着へ、調理が簡単で栄養価が高く、地元食材も活用できる「みそ汁」を教材に選定しました。
- ・みそ汁の味覚や塩分の理解、だし・具材の工夫、調理実習を重ね、健康的なレシピづくりに取り組みました。

子ども食堂での実践－みそ汁で広がる地域の輪－

- ・和光市の「しらりん食堂」と連携し、調理・配膳ボランティアを通じて子ども食堂の現場を体験しました。
- ・プロジェクトで得た学びを活かしてみそ汁の献立を提案し、子ども食堂で実際に提供することで、地域に貢献しました。



地元食材の調達、生産者の顔が見える安心感、野菜の旬、地球環境にやさしい農業を体験しました。



31杯のみそ汁日めくりカレンダー

- ・栄養・手軽さ・おいしさを追求した朝食みそ汁レシピ

31日分考案し、日めくりカレンダーを作成しました。

- ・完成レシピをもとに写真撮影を行い、塩分濃度や栄養価を計算した上で、カレンダーに内容を反映しました。

活動団体名

子ども元気プロジェクト実行委員会

活動タイトル

子ども元気プロジェクト2025



活動概要・テーマ

大学間共創で地域の子どもへ豊かな体験を！



地域の子どもへ豊かな遊び体験（造形、音楽、運動）を提供すると共に学生の実践的学びの機会を創出するプロジェクトです。文教大学と十文字学園女子大学の学生が協働し、遊びの豊かさについて考えています。

Topics

1

子どもたちの笑顔のために！



文教大と十文字、各々のチームが考えた遊びを動画で共有、子どもの豊かな体験へ向けた工夫や援助について意見交換を行いました。

Topics

2

たくさんの子どもたちと共に！



2025年12月6日(土)、28名の子どもと保護者が十文字学園女子大学へ集結！学生が考えた様々な遊びを楽しみました。

Topics

3

文教大学での振り返り！



十文字の学生が文教大学キャンパスへ。文教大学学生と共にプロジェクトを振り返り、お互いの学びを深めることができました。



運動遊び・鈴木康弘研究室 Email : suzukiy@jumonji-u.ac.jp

音楽遊び・薮崎伸一郎研究室 Email : yabuzaki@jumonji-u.ac.jp

造形遊び・宮野周研究室 Email : a-miyano@bunkyo.ac.jp

事前準備



文教大学の宮野周先生と学生約20名がプロジェクト前日に十文字学園女子大学を訪れて造形遊びの環境設定を行いました。慣れない環境の中、子どもの動線や安全への配慮なども視野に入れ、準備を進めてくれました。



動画の共有



十文字と文教大の各グループで考えている遊びを動画で共有し意見交換を行いました。多様な視点から遊びを捉えることができ、遊びの質を深めることにつながりました。

当日の遊び・音楽遊び



あれっ
紙コップから大きな声が…

当日の遊び・たこあげ



思いっきり走って天まで届け！

当日の遊び・スライム体験



楽しそうで
お家に持て帰りたい！

当日の遊び・プールステイック



当日の遊び・光る絵の具



最後に全員で記念撮影



振り返りの様子@文教大学

活動団体名

児童教育学科インスタチーム

活動タイトル

学生主体で広がる 学科の魅力発信プロジェクト —交流を通して育つ実践と学びの場—



活動概要・テーマ

地域連携の学びから、学科の魅力を発信！



児童教育学科インスタチームの学生が企画・運営を行い、進学不安の解消や地域交流を目的に、イベントやボランティア活動を実施。学科の魅力を発信するとともに、地域に根ざした学びから教育者としての実践力を育みました。

Topics

1

クリスマスパーティー



近隣小学校の子どもたちを招き、工作やゲームを通してクリスマスの雰囲気を体験する交流イベントを開催。

Topics

2

アフタヌーンティー



オープンキャンパスでアフタヌーンティーを開催。在学生が高校生・親子の進学に対する不安に寄り添う交流の場を企画しました。

Topics

3

新座市内夏祭り ボランティア



新座市の夏まつりボランティアに参加。綿あめなどの出店補助や会場運営を手伝い、地域交流を深めました。



児童教育学科Instagram : @jidokyoiku

大学公式HP : <https://jumonji.my.canva.site/jidokyoiku>

地域の小学生と楽しむクリスマスパーティー

地域の小学生を招いたクリスマスパーティーを企画・運営しました。当日はクリスマスリースやスノードーム作りなどの工作、bingo大会、シュトーレンを味わう企画など、子どもたちが楽しめる内容を構成しました。学生は企画会議でアイデアを持ち寄り、プログラムの設計や必要物品、動線、役割分担を自分たちで検討しました。

当日は保護者を含め約50名にご参加いただき、地域の子どもたちと直接関わることで、学生にとってコミュニケーション力や企画運営の実践を積む機会となるとともに、地域とのつながりを深める場となりました。



児童教育学科 インスタチーム

学生考案企画で学科の魅力を発信！

児童教育学科では、学生主体のインスタチームを中心に、学科の魅力発信を目的とした企画や地域連携活動に取り組みました。クリスマスパーティーの運営、高校生と保護者を招いたアフタヌーンティー、新座市内の夏祭りでのボランティア活動など、学内外で多様な企画を実施し、子ども・高校生・地域住民と交流を深めました。

学生が主体的に企画・広報・運営に関わることで、協働力やコミュニケーション力を発揮し、実践的な学びにつながりました。



新座市内夏祭りボランティアに参加しました

新座市内で開催された夏祭りにボランティアとして参加しました。学生は屋台の運営補助や来場者への案内、受付対応などを担当し、地域の方々と一緒にイベントを支えました。特に子どもたちとのやり取りや、地域住民からの声かけを通して、地域行事が担う交流の役割や、世代を超えたつながりの大切さを実感する場となりました。参加した学生からは「地域の方々が大切にしてきた活動を近くで学べた」「運営に関わることでイベントの見え方が変わった」といった声も聞かれ、行事の裏側では多くの準備や協力が重なっていることへの理解も深まりました。今回の経験は、学科が大切にする「地域と協働する学び」を実践につなげる貴重な機会となりました。



活動団体名

人間福祉学科 富井ゼミ

活動タイトル

親子でまなぶ認知症 2025

活動概要・テーマ

認知症について正しく楽しく知ってもらおう

こんにちは、人間福祉学科 富井ゼミです！
ここ数年、地域ケア、地域づくりを実践的に学ぶため、地域の方に認知症について正しく知って頂く啓発活動に取り組んでいます。



Topics

1

オレンジピーアール2025参加



新座市介護保険課主催の普及啓発活動イベント「認知症にやさしいまちにいざ展」「介護予防講演会」に参加しました。

Topics
2

桐華祭 出展



「親子でまなぶ認知症」をテーマに出展！
今年は、認知症に関するクイズをしながらの迷路と、ポスター展示を行いました。

2日間で約340名の方にお越し頂きました！ 親子で認知症について一緒に知る機会となつてもらえたようです！



人間福祉学科Instagram : @jumonjifukushi

新座市オレンジピーアール 2025への参加

9月は、世界アルツハイマー月間（認知症月間）！
新座市では、“認知症にやさしいまちづくり”を目指し、
毎年9月に新座市介護保険課主催の普及啓発活動イベントを行っています。

富井ゼミでは、2022年度からこのイベントに参加しています。「認知症にやさしいまちにいざ展」では、学生が制作したポスター（「親子でまなぶ認知症」「認知症に関するクイズ」）を展示しました。また、「運動×脳トレで学ぶ！認知機能低下予防の新常識」をテーマとした介護予防講演会では、お楽しみ企画として、会場の皆さんと一緒に脳トレ運動を実施しました。講演内容に関連した“二重課題”を取り入れた運動を学生が考案し、プラスちゃんくらぶのみなさんと一緒にステージへ。

参加者の方から「楽しかった」「教えてもらった脳トレ体操を続けたい」と好評の声も頂きました！

私たちが参加したお楽しみ企画では、想像以上に多くの方が真剣に取り組んでください、健康に関する情報を求めている高齢者の方が想像以上に多いことを実感しました。

こうしたニーズに応えていくためには、地域での活動の機会をさらに増やすこと、そして大学としても地域との連携を積極的に進めていくことが重要であると改めて感じました。

桐華祭(学園祭)での出展 “親子でまなぶ認知症” ブース

2023年度から始めた“親子でまなぶ認知症”をテーマとした桐華祭への出展、今年は、認知症に関するクイズをしながらの迷路とポスター展示を行いました。子どもたちが問題を声に出して読んでくれたり、どっちだろうね～と親子と一緒に考えて下さったり。

子＆大人の親子だけでなく、大人＆大人の親子も「勉強になるね～」「私もこういうことある！迷う～！」と、学生たちが考案・配置した絶妙なクイズに、楽しながら、認知症について知ってもらえる機会になったようです！

また、ポスターを作成するにあたって、迷い人の現状について、新座警察署の担当者の方にヒアリングも行いました。



新座市介護保険課、新座警察署のみなさま ありがとうございました！！

富井ゼミは、高齢者の地域ケアについて研究しているゼミです

地域の皆さんに認知症を正しく理解していただくための啓発活動は、ゼミの地域活動演習の一環として行っています。啓発の重要性を実感できるだけでなく、イベント自体を楽しみながら参加できるため、学生にとって実践的な学びの場となっています。こうした機会・場をご提供頂ける行政・企業・団体のみなさま、ご連絡お待ちしております！

富井ゼミの活動は人間福祉学科のインスタでも紹介しています



活動団体名

みんなのひろば☆きらり

活動タイトル

地域との連携による 多様性交流サロン「みんなの ひろば☆きらり」の実践

活動概要・テーマ

だれでもが集える居場所づくり



多様性交流サロン「みんなのひろば☆きらり」は、
月に1回、地域の方と活動し、2026年1月には
第45回を迎えます。

Topics
1

夏祭り



☆きらりの活動地域で開催される夏祭りに参加し、射的・くじを出店しました。300人以上の方が遊びに来られ、大変盛り上りました。

Topics
2

文化交流会



留学生や地域の外国籍の方に各国の面白い話を聴きました。サーフボードを担ぐサンタクロースなど異文化を楽しみました。

Topics
3

ミニ運動会（くつしたまいれ）



バラバラになった靴下を一足ずつセット（玉）にして力ゴに投げ入れる「くつしたまいれ」で、競い合いました。



みんなのひろば☆きらり Instagram : @22_kirari
人見優子研究室 Email : hitomi@jumonji-u.ac.jp

多様性交流サロン「みんなのひろば☆きらり」

2025 活動報告

ジャンボトランプ



子どもでも大人でも使いやすい大きなトランプで神経衰弱を行いました。

ポスター表彰



ポスター展を開催し、川瀬ゼミの学生が作成した作品の中から、地域の方々の投票で最優秀作品を選び表彰しました。

スタンプラリー



人気の少ない商店街に笑い声がひびきました。

レコーディング



棚谷先生ご指導の下、生歌のあさごん音頭が完成しました。

パン食い競争



ぶら下がったお菓子を手を使わずにどれだけ早くとることができるか競争しました。好きなお菓子を狙って真剣勝負しました。

防災ミニ講座



意外と知らない地域の危険な場所を地域にお住いの元消防士さんからクイズ形式でお話を聴きました。

2025年度 年間活動

4月	1年の健康	10月	☆きらりin桐華祭（十文字）
5月	ミニ運動会	11月	文化交流会
6月	スマホ教室	12月	クリスマス会
7月	あたご祭り	1月	もちつき会
8月	積み木	2月	バレンタインデコデコ会
9月	スタンプラリー	3月	☆きらりオリジナル音楽会



活動団体名

プラスちゃんくらぶ

活動タイトル

プラスちゃん(+)といっしょに、地域にプラスの
価値を！学生にプラスの経験を！



活動概要・テーマ

地域イベントへの参加とワークショップの企画

「プラスちゃん」といっしょに地域イベントやお祭りに参加し、イベントを盛り上げます。あわせて、公民館や小学校でクラフトワークショップを企画・運営し、オリジナルの作品作りをサポートします。



Topics

1

地域イベントへの参加



地域イベントで、グリーティングを行うとともに本学の魅力発信に努めています。地域の方々とのふれあいを大切にしています。

Topics

2

ワークショップの企画



地域の公民館や小学校でワークショップを企画・運営しています。簡単に作れるクラフトワークは地域の方々に好評です。

Topics

3

キャラクターで地域おこし



ご当地キャラクターと共に演じ、地域の盛り上げに努めます。ダンスを踊ったり写真を撮ったり、楽しい時間を提供します。



プラスちゃんくらぶX : @_pluschan

プラスちゃん紹介HP : <https://www.jumonji-u.ac.jp/outline/character/>



多くのイベントに
参加したプラ♪



地元を中心に、さまざまなイベントに参加。ご当地キャラクターといっしょに、地域を盛り上げます。「プラスちゃん」と声をかけてくださる方も多く、イベント参加の励みになっています！



ワークショップを
開催したプラ♪



シリコン製のホイップで、ケーキのマグネットを作ったり、重曹を加えた絵の具で立体感のあるアートパネルを作ったり……。
地域の皆さんに楽しんでもらえるクラフトワークショップを開催しています。



発射台

ホイップデコ



これまで開催したワークショップ（一部）

- ・重曹アート・ホイップデコ・ロゼット作り
- ・割りばしで作る発射台
- ・ペーパークロマトグラフィーの実験
- ・プログラミング など

今後もご期待ください！



活動団体名 人間生活科学研究所
+(プラス)ママの子育てサロン

活動タイトル

学生スタッフとして地域の親子と一緒に楽しみながら保育の専門家から実践的に学んでいます！



活動概要・テーマ

キャンパスで開催されている質の高い子育てサロンで学生が主体的に学ぶ場



地域の0歳から3歳のお子さんとママパパのための子育てサロン。キャンパスの豊かな環境の中、質の高い子育てサロンを実施しています。スタッフは保育経験者であり子育て中でもある十文字卒の先輩達。学生スタッフは、子どもと一緒に楽しみながら感じて表現して動いて学んでいきます。

Topics

1

子ども達と夢中になって遊ぶ



親子が安心して楽しむことができる場は学生スタッフにとっても安心して思い切り楽しむことできる場です。

Topics

2

保育者としての動きを学ぶ



保育経験者でもあり子育て中のママでもある十文字卒のスタッフたちは学生の憧れでもあります。学生、スタッフ、教員が連携しながら質の高いサロンをつくっています。

Topics

3

自分たちで企画し地域の親子と一緒に楽しむ



「身体表現論（渡邊孝枝講師）」の授業とのコラボ企画。学生が様々な遊びを考え、環境構成をし、スタッフのサポートと教員のサポートを受けながら、実施した「あそびば」の活動です。



+ (プラス) ママ公式Instagram : @plus.mama
Email : plusmama@jumonji-u.ac.jp

+(プラス)ママの子育てサロンとは？

十文字学園女子大学幼稚教育学科を卒業し、保育経験者であり子育て中のスタッフが、同じ子育て中のママたちと一緒に子育てを楽しむサロンです。スタッフの子ども達も一緒にいます。豊かなキャンパスの環境を存分に味わいながら、子どもと一緒に遊ぶ楽しさをたっぷり感じることができるサロンとなっています。

学生スタッフは子どもと一緒に遊ぶことを楽しみながら、自身の感性を豊かにていきます。

子どもって面白い！お母さん・お父さんってこんな気持ちになるんだ！
ママでもあり保育者でもあり、先輩でもあるスタッフって素敵！



十文字の森で楽しむ 自然は偉大なる先生

子ども達が遊んだ後には楽しかった痕跡がたくさん

* *



「身体表現論」の授業とサロンのコラボ企画

学生が企画・準備した「あそびば」を開催



幼稚教育学科の
学生たちが1か月
かけて準備してき
た「あそびば」。地
域の親子と楽しめ
るようにたくさん考
えました。

手作りのおもちゃ
や工夫を凝らした
各コーナーでの遊
びは子どもたちに
大好評！

プラスママ子育てサロンスタッフ(教員)
向井美穂・横井紘子・渡邊孝枝・金允貞・土屋由

活動団体名
社会情報デザイン学科
(実施担当者：山崎萌々子)

活動タイトル

学生の声と感性で地域を動かす 連携プロジェクト — 対話・表現・企画でつながる地域共創 —



活動概要・テーマ

地域社会と協働する学科の実践活動

新座市長との懇談会や地元企業との協働を通じて、学生が企画・発信を担いました。学生の視点と専門性を生かし、地域課題の理解と新たな価値創出に取り組みました。



Topics
1

新座市長に提案



新座市内三大学の学生と市長が意見交換を行い、若者視点で地域課題やまちづくりについて提案。

Topics
2

神蔵RUNWAY



新座市地元企業「神蔵」のシゴト着を女子大学生が着こなし、新しい働き方とファッションの魅力を発信。

Topics
3

BELLUME～香茅～



新座市地元企業「新座クラフト」と連携し、商品のラベルデザインと商品名を学生が制作。



社会情報デザイン学科Instagram : @jumonji_sid

新座市長との懇談会で若者視点の地域課題解決の提案

若者視点から新座市のまちづくりについて提案を行いました。本学の学生を対象にアンケート調査を実施し、地域への関心や生活ニーズ、まちづくりへの意見を分析。その結果を踏まえ、地元住民にも参加してもらう「新座未来共創ワークショップ」、新座の魅力に気付く「地域につながる学生シェアハウスの企画」、デジタルとリアルをつなぐ「メタバースを活用した新たなシティプロモーション」など、多様なアイデアを本学科生が発案し市長に提案しました。

若者と行政が連携する意義について市長から丁寧なフィードバックをいただき、学生にとって学びの深い機会となりました。



「BELLUME~香莓~」ネーミングを
松本ゼミが考案しました！



社会情報デザイン学科 2025年地域連携活動

当学科では、地域と連携して実践的な学びを進めています。新座市長との懇談会では、市政での採用を目指して、若者視点でのまちづくりアイデアを提案しました。

また、作業着を販売する地元企業と協働し、シゴト着としての新しい価値観を広めるランウェイ企画の構想と実現、さらにクラフトビールの商品開発におけるネーミングとラベルデザインにも取り組みました。学生の発想や感性を生かして、地域の魅力を可視化し、学科での学びを通じて地域と共に未来をつくる取り組みを展開しています。

ラベルデザインは
川瀬ゼミが担当しました！



シゴト着「神藏」を女子大学生が着こなすランウェイ



新座市地元企業の鳶専門服ブランド「神藏（かぐら）」様とコラボレーションし、「女子大学生が着こなす鳶服ランウェイ」を学園祭（桐華祭）で開催しました。

学生がモデルとして出演し、「伝統」「誇り」「未来」「女性」などをテーマに、鳶服の新しい魅力を表現。職人の誇りと学生の感性が融合したステージとなりました。当日は神藏・悴山社長にもご登壇いただき、「伝統と未来をつなぐ素晴らしいステージでした」とのお言葉を頂戴しました。本取り組みを通して、学生たちは地域企業と連携し、社会に新たな価値を発信する学びを実践しました。

活動団体名

ボランティアセンター

活動タイトル

地域に活かそう学生のチカラ —学生のボランティア活動の支援—



活動概要・テーマ

ボランティアに関する相談・情報提供と発信

学生が積極的にボランティア活動に参加できるよう、ボランティア活動に関する支援をし、学生スタッフは、職員と共に学内にボランティア活動を広め、魅力や楽しさを伝えることを目的に活動しています。



Topics

1

子どもの居場所づくり



毎月、市内のNPO法人や地域と協力し、レクの考案や当日の運営等をしながら、小学生と遊びや食事を通して交流しています。

Topics

2

障害のある方との交流



障害児者余暇支援グループ「あひる」と学内で行う交流会！学生スタッフが企画運営を行い、学生が考えたレクは毎回大好評です。

Topics

3

学内ボランティア活動「ちょこボラ」



学生スタッフが企画運営し、学内で誰でも気軽に参加できる“ちょこっと”ボランティア（ちょこボラ）！

学科学年を超えて交流が広がっています。



ボランティアセンターInstagram : @jumonji_vc

学生スタッフInstagram : @jumonji_vc.gakusuta Email : v-center@jumonji-u.ac.jp

ボランティアセンターの1年間

地域とのつながりを大切に

しながら、さまざまな活動に取り組んできました。ボランティア活動を通して学生たちが身につけた社会性や自律性、さまざまな経験は実習や職業選択など学生たちの未来に活かされています。

夏



他大学生との交流

「集まれ！学生ボランティア～語ろう、つながろう、次の一步へ～」(TJUP学生イベント交流委員会主催)に参加し、他大学生とボランティアについて、考え話し合いました。

春



春の地域クリーン活動

学生スタッフが中心となり、全学へ参加者を呼びかけ、野火止四丁目上町内会の方たちと一緒に大学から新座駅周辺の清掃活動を行いました。

夏



スマホボランティア

高齢者の方にスマホの基本操作やアプリの使い方などをお伝えしました！参加者からは大変好評で、喜びの声をいただきました。

冬



フードドライブ

NPO法人新座子育てネットワークと共に、赤い羽根共同募金の呼びかけを新座市社会福祉協議会の職員と共に、新座駅前と学内で行いました。学内募金では、多くの学生や教職員も協力してくれました。

年間



地域のイベント

新座市福祉フェスティバルや、こども向けのイベント、障害のある人たちとの交流など、地域のさまざまな取り組みに参加しました。

年間



読み聞かせボランティア

年間を通じて、乳幼児・小学生・障害児者など新座市、和光市、三芳町内の5カ所で、読み聞かせボランティアとして、地域の方たちと交流しています。

年間



研修

ボランティアによる「学びと実践」を循環するため、学生スタッフ研修や読み聞かせボランティアを始めるにあたって、学内の教員の協力のもと研修を行っています。



発行 十文字学園女子大学
社会連携推進課

TEL:048-477-0958(直通)



2026.2発行